

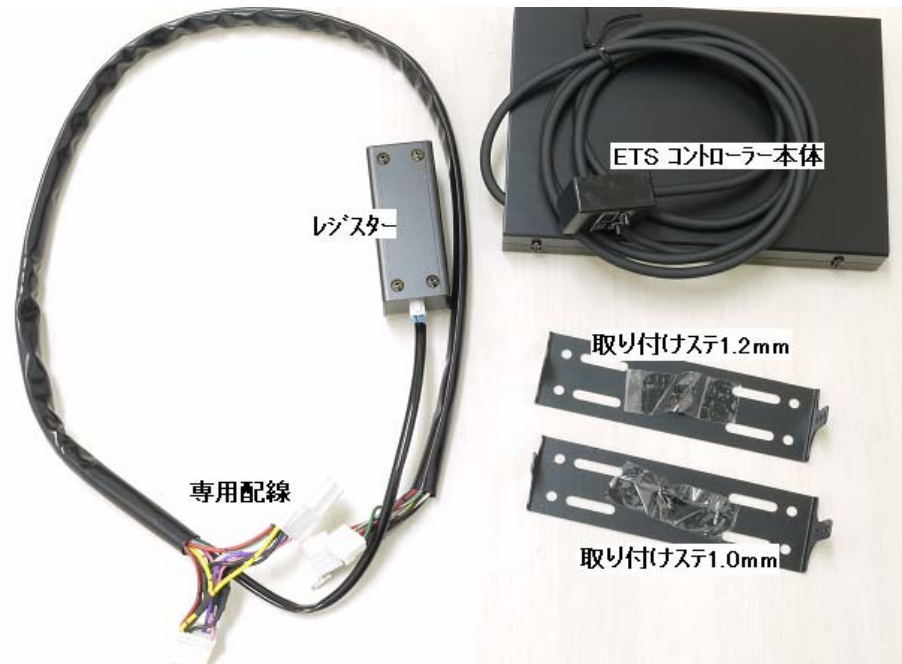
R35 ETS-CONTROLLER

取扱説明書

試供版



## 梱包仕様



## 本体の取り付け

純正ETSユニットは運転席のシートの下にあります。  
付属の専用配線を純正ユニットの配線の間割込ませます。



本体およびチャンネルの位置は自由です。  
壊れない所に設置してください。

\*オプションの延長ハーネス(ロングケーブル)を使用して、本体を取付ステを使用し  
車両のディスプレイの上に設置する事も出来ます  
ディスプレイの上に設置する際は1.0mmのステを前側に使用し、取付け穴  
を左右斜めになるように取り付けると水平になります。

## メインスイッチ

本体のメイン電源スイッチになります。  
本体のケーブル接続する側にあります。  
電源をOFF時は、ノーマルになります。



## 電源ランプ

電源が入っていると点灯します。

## エラーランプ

### 点滅時

車速やスロットルのCAN信号が一定時間スキャンできないと点滅します。  
制御は、ノーマルに切り替わります。  
復帰条件: CAN信号が入力されること

### 点灯時

- 出力信号側で配線がショートして過電流が流れたり、バッテリー電圧が約16[V]以上になった場合に点灯します。  
制御は、車両・部品保護のためリア駆動になります。  
配線やバッテリー電圧・オルタネータ発電電圧等の確認をして下さい。  
復帰条件: イグニッションキー又はメインスイッチをOFF/ONする。  
ただし異常がある場合は、すぐに点灯します。
- 出力がある一定時間以上電圧をかけた場合も点灯します。  
制御は、ノーマルに切り替わります。  
復帰条件: 出力信号が正常に戻った場合は、自動復帰します。

## セットスイッチ

各種設定(フロントトルク設定やトルクを掛けるスタートポイント等)を変更するスイッチです。  
セット中は、セットランプが点灯します。  
セットモード中に電源が遮断されると、変更した内容は保存されません。  
必ずセットモードからモニターモードに戻してください。

### \*\*\*\*注意事項\*\*\*\*

- \*低速時フロントトルクを増大しすぎるとプロペラシャフトの破損につながります。
- \*路面ミューが低い時又フロントトルクを増大中にフロントの方側のタイヤが空転すると4WDエラーになります。フロントの接地の良いタイヤを履くか、フロントの空転を抑えるサスペンションにするとエラーはおきにくくなります。それが不可能な場合フロントLSDを装着すると改善される場合があります。
- \*使用に際し不安な場合チャンネル1の使用をお勧めします。  
チャンネル1は比較的効果的で安全なモードです。

但し当社は車両の破損ならびに事故に対し一切の責任は負いません。

## 各チャンネル説明



ノーマルETSと同じ制御をします



ノーマル信号の**2.5倍**まで増幅します  
99Km/hまでフロントにトルクを掛けないことが出来ます。



トルク設定と開始ポイントが車速で設定できます  
ノーマルETS制御と同期して作動させることが出来ます



トルク設定と開始ポイントがスロットルペダル開度で設定できます  
ノーマルETS制御と同期して作動させることが出来ます



トルク設定と開始ポイントがエンジントルクで設定できます  
ノーマルETS制御と同期して作動させることが出来ます



トルク設定と開始ポイントが車速で設定できます



トルク設定と開始ポイントがスロットルペダル開度で設定できます



トルク設定と開始ポイントがエンジントルクで設定できます



ノーマル信号の2.5倍まで増幅します  
99Km/hまでフロントにトルクを掛けないことが出来ます。

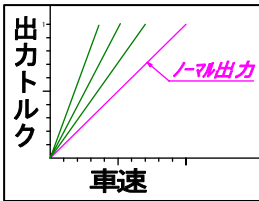
### セットモード



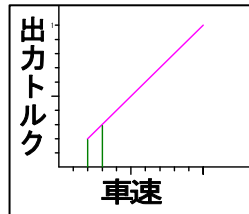
設定を変更するには、セットモードスイッチをONにしてください  
セットモードランプとチャンネルランプが点滅します。

- \*セットモードのまま電源が落ちると設定は記憶しません。
- \*小型のチャンネル設定モニターの設定値が走行しているモードです  
本体のチャンネルは走行チャンネルに関係なく設定できます走行チャンネルを変更するとリアルタイムに設定が変化します
- 増幅量は1で10%増幅です1~F迄

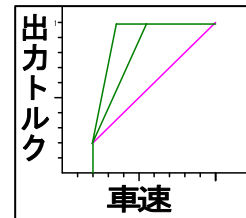
車速設定0Km/hでGAINを上げて行くと下記



GAIN=0で車速を上げて行くと下記



GAINと車速両方設定すると下記



### モニターモード

セットモードスイッチをOFFにすると下記内容が表示されます。





トルク設定と開始ポイントがCANDATAで設定  
できます。ノーマルETS制御と同期して作動さ  
せることができます。

### セットモード



設定を変更するには、セットモードスイッチをONにしてください  
セットモードランプとチャンネルランプが点滅します。

**\*セットモードのまま電源が落ちると設定は記憶しません。**

**\*小型のチャンネル設定モーターの設定値が走行しているモードです**

本体のは走行チャンネルに関係なく設定できます走行チャンネルを変更すると  
リアルタイムに設定が変化します

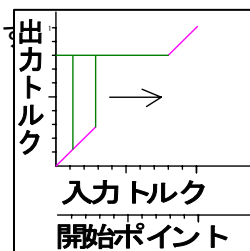
CAN設定データは2chが車速、3chがペダル開度、4chがエンジン推定トルクです。  
車速はKm/h・ペダル開度は全開を100とした%・エンジン推定トルクはN・m(50で500N・m)

開始ポイントはモニターモードで見るトルク値

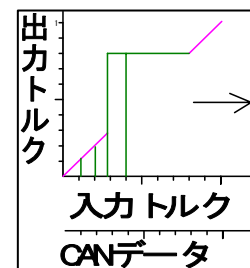
最大トルクはモニターモードで見るトルク値(最大7)

最大値開始時間は1で**0.1秒0~F迄**(急激なトルク発生を緩和させます)

CANデータ=0で開始ポイントを上げて行くと最大トルクまで左  
記のグラフのようにトルクが上がります。ゼロで設定すると  
常時トルクが掛かります。設定最大トルクがノーマル以下だと  
ノーマルトルクが優先されます。



スタートポイントがとCANデータを重複して設定するとCAN  
データ優先で開始し、スタートポイントまではノーマルトルク、スタート  
ポイント以上になると最大トルクの設定に上がります。最大  
トルクがノーマル以下だとノーマルトルクが優先されます。スタート  
ポイントがゼロの場合CAN設定データ値になるまでFRIになり  
ます。



**\*グラフは開始時間設定ゼロとした場合のグラフです、開始時間を設定すると  
立ち上がり角度が鈍角になります\***

### モニターモード

セットモードスイッチをOFFにすると下記内容が表示されます。







トルク設定と開始ポイントがCANで設定できます。ノーマルトルクは一切関係なく設定データだけで動きます。

### セットモード



設定を変更するには、セットモードスイッチをONにしてください  
 セットモードランプとチャンネルランプが点滅します。

**\*セットモードのまま電源が落ちると設定は記憶しません。**

**\*小型のチャンネル設定モーターの設定値が走行しているモードです**

**本体のは走行チャンネルに関係なく設定できます走行チャンネルを変更するとリアルタイムに設定が変化します**

CAN設定データは5chが車速6chがペダル開度7chがエンジン推定トルク  
 車速はKm/h・ペダル開度は全開を100とした%・エンジン推定トルクはN・m(50で500N・m)

最大トルクはモニターモードで見るトルク値(最大7)

最大値開始時間は1で**0.1秒0~F迄**(急激なトルク発生を緩和させます)

### モニターモード

セットモードスイッチをOFFにすると下記内容が表示されます。



